

「食の大切さ」を伝えるフォーラムの開催

- 食品ロスは、「食」という生活の価値観に関わるものです。ごみ減量を目的とした啓発主体の取組だけでなく、「食の大切さ」を再認識し、一人ひとりが自分の生活を見つめ直して自身にできることを考えるなど価値観にアプローチする取組も併せて進める必要があると考えています。
- そこで環境、貧困、食育等の視点を交えて、「食品ロス」削減の呼びかけや「食の大切さ」を伝えるためのシンポジウムや映画上映会、講演会等を開催することで「食に対する感謝」の気持ちを醸成し、ライフスタイルを見直すきっかけづくりを行いました。



【取組の内容】

- シンポジウム『考えよう!「食べること」「捨てること」～いま私たちができることは?～』の開催
 - ・平成29年10月1日(日)(305名来場)
 - ・基調講演(世界食糧農業機関(FAO)駐日連絡事務所長 チャールズ・ポリコ)
 - ・事例紹介・パネルディスカッション(NPO、NGO、企業、横浜市)
- 「食」に関する映画自主上映会&トークセッション・講演会の開催
 - ・平成29年 8月19日(土)もったいない(53人来場)
 - ・平成29年10月16日(月)0円キッチン(85人来場)
 - ・平成29年11月21日(火)いただきます みそをつくる こどもたち(95人来場)
 - ・平成30年 2月22日(木)いただきます みそをつくる こどもたち(290人来場)



シンポジウム パネルディスカッション



幼児も一緒にアットホームな映画上映会

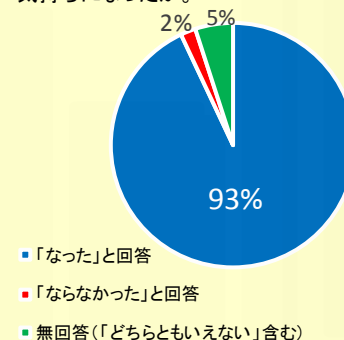
【取組の成果】

「食」に関わる様々な立場の方から話を聞くことにより、「食品ロス削減」又は「食料支援」等に対する意識を高め、行動につなげるきっかけづくりができました。

また、映画上映と合わせて「食の大切さ」を伝えるトークセッションや講演会を開催することで、「食に対する感謝」の気持ちを醸成することができました。

各種イベント開催時にアンケート調査を実施し、食に対する意識の変化等について検証した。

質問項目①食事の際に食べ残しをしない気持ちになったか。



質問項目② 地場産物の購入など、地産地消の関心が高まったか。

